多文化共生フォーラムin富谷　実施報告

富谷市企画政策課作成

概要

○開催日時：令和6年11月9日（土）10:00～12:00
○場　　所：富谷市役所1階市民交流ホール
○参 加 者：多文化共生・国際交流に興味のある方（68名）
○プログラム：基調講演とトークセッションの二部構成
○共　　催：宮城県・富谷市・（公財）宮城県国際化協会
　　宮城県人権啓発ネットワーク協議会

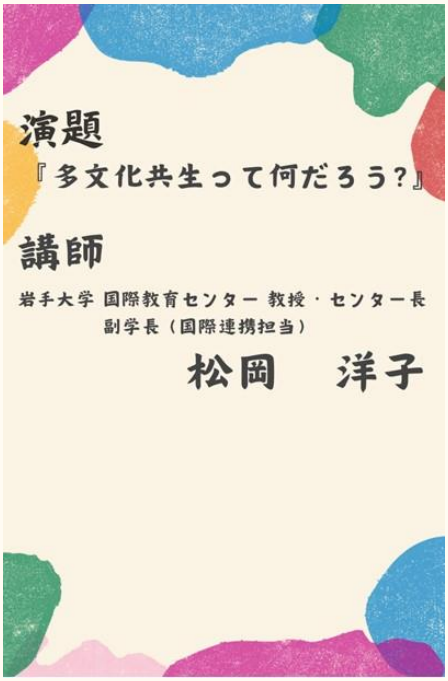
目的

富谷市においては市内企業で働く外国人が増えており、成田二期北工業団地の整備促進など、企業誘致を強化していることにより、今後も就業者・移住者の増加が見込まれています。そこで、市民の方に多文化共生について興味を持っていただく機会とし、加えて多文化共生に向けた取組を行っていくキックオフとするために事業を実施しました。

⑴基調講演：～多文化共生って何だろう？～

○講師：岩手大学国際教育センター教授　松岡洋子氏

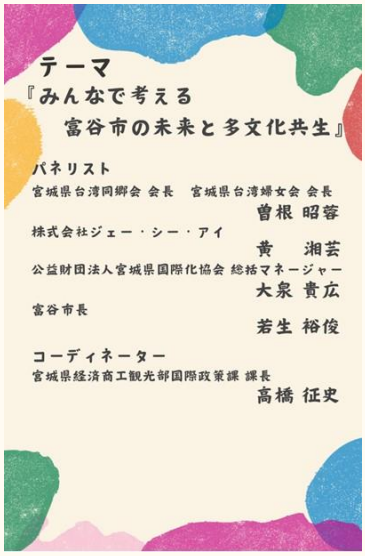
・『多文化共生って何だろう？』をテーマに宮城県・富谷市の現状を踏まえて、多文化共生に関する基礎的なご講演をいただきました。
・松岡先生にはクイズや松岡先生ご自身のご経験・エピソードを交えながら、日本人と外国人のコミュニケーションの取り方について、わかりやすい内容のご講演をいただき、来場された方々は楽しく多文化共生と「やさしい日本語」について理解を深めることができました。



⑵トークセッション：「みんなで考える富谷市の未来と多文化共生」

〇パネリスト：
・宮城県台湾同郷会会長・宮城県台湾婦女会会長 曽根 昭蓉 氏
株式会社ジェー・シー・アイ　黄 湘芸 氏
（公財）宮城県国際化協会 総括マネージャー　大泉　貴広 氏
富谷市長　若生 裕俊
〇コーディネーター：
宮城県経済商工観光部国際政策課 課長　高橋　征史

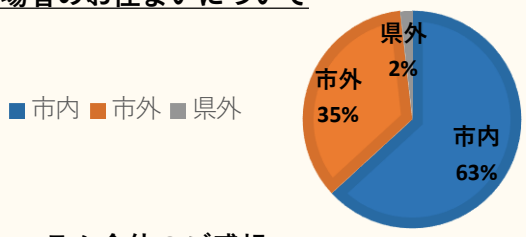
・トークセッションでは、宮城県の高橋国際政策課長がコーディネーター役を務め、パネリストの方からは来日してからのご経験や、今後市内在住の外国人が増加していくと見込まれる富谷市で、日本人が外国人を受け入れていく際の心構え等についてお話しいただきました。
・市民の皆さんと今後居住される外国人の皆さんが互いに多文化共生について理解を深めていくことが必要であり、誰もが住みやすい富谷市を目指して一人ひとりができることを考える機会になりました。



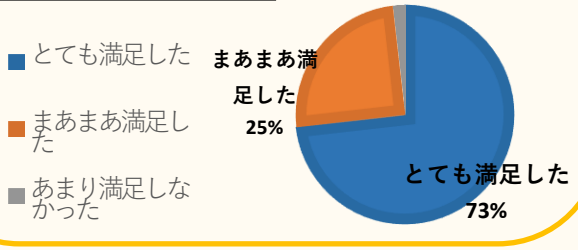
登壇者の曽根昭蓉氏よりご提供いただいた台湾茶。↑

来場者向けアンケートより（回答者57名）

来場者のお住まいについて



フォーラム全体のご感想



来場者の声

・多文化共生の理解が深まった。
・日頃何気なく感じていることが講演内容にあり理解に繋げられました。
・外国籍の方の生の声、外国人と関わる方の現場の声が聞けてよかったです。
・今日聞いたことを友達やほかの方に沢山伝えて、多文化について理解の輪をひろげていきたいです。

今後の富谷市の多文化共生について

今後は市民の方と外国人の方が交流できる機会を設けながら、多文化共生についてより理解を深められる事業を展開していきます。